

夏休み親子環境学習講座を開催。156名の“うどん県 エコキッズ”が誕生！（環境レポート）

香川県では、子どもから大人まで、みんなで地域の環境を楽しく学んでいただくため、夏休みの期間を利用して、「瀬戸内海エコクルーズ」「いのちの森づくり」「緑のカーテン」の3つのテーマ、計5回の親子環境学習講座を開催しました。

夏休みの自由研究にピッタリのこの企画に定員を大幅に上回る応募があり、多数の応募者の中から選ばれた125組の小学生親子が熱心に、楽しく受講し、受講終了後には、環境の大切さをみんなに伝えていく156名の“うどん県 エコキッズ”が誕生しました。

応募者が殺到したAコースの島を知りたい伝え隊の講座を中心に、各講座の様子を簡単に紹介します。

### コースA 島を知りたい伝え隊

晴天に恵まれた講座当日、9組18人の親子とスタッフは香川県が誇る漁業指導船ことぶきに乗り込み一路三豊市の志々島を目指します。瀬戸大橋をくぐり、有人、無人の10以上の島々を見ながら1時間ほどで志々島に到着。まずは憩いの家へ移動して島民の北野さんと山地さんから志々島と樹齢1200年とも言われる大楠についての説明を受けました。昔懐かしい蚊取り線香を準備していただき、いよいよ大楠へ向かいます。その途中メキシコ原産の竜舌蘭（りゅうぜつらん）という珍しい植物を見ました。実はこの植物50年から70年に一度しか花が咲かないのですが、今年このエコクルーズを出迎えるように咲いていました。20分程登りいよいよ大楠と御対面です。木というものの概念を打ち崩すような大迫力の大楠はまさに島の守り神といった佇まいで、その大きな木陰の下は真夏とは思えないほど快適でした。ここでは、山地さんから紙芝居を使った大楠にまつわる伝承や大楠を守るための取組みなどを話していただいた後みんなで記念撮影。その後周辺を散策するなど参加者みんなが思い思いの時間を過ごしました。

名残惜しいですが大楠に別れを告げ、展望台を目指します。5分程の道のりですが、急な階段と強い日差しでみなさんへとへとになりながらようやく到着。瀬戸内海の絶景に疲れも吹き飛びます。



船から見上げる瀬戸大橋は迫力満点



エコクルーズに合わせて咲いた竜舌蘭



大楠の迫力にみんな圧倒されました



紙芝居を読む山地さんは大楠の守り人



展望台からの景色は絶景です

大楠から戻ってお弁当を食べた後は志々島と山地さん、北野さんに別れを告げて一路直島へ。1時間ほどのクルーズで直島に到着すると、直島環境センターを見学しました。こちらではセンターの職員から豊島の廃棄物問題に

ついて説明してもらい、廃棄物処理施設の見学をしました。

船旅の疲れも見せず、話やビデオを見ながらメモを取るなど、みんな真剣に豊島問題について学習しました。

直島処理センターの見学を終えた後、最後の乗船で高松を目指します。

先程学んだ、豊島の処分場も船上から見学し、男木島、女木島を通るとあっという間に高松港につきました。

最後に一人一人「うどん県エコキッズ」認定証を受け取り、解散しました。朝早くから丸一日の講座でみなさんさすがにお疲れでしたがトラブルやケガもなく無事終了し、みなさん楽しそうに帰って行かれました。



豊島問題について学びました



トラックから廃棄物が運び出される様子



制御室など仕事の様子を見学



溶融炉の模型などでの分かり易い解説



最後の乗船、一路高松へ



うどん県エコキッズ認定証授与の様子



今回のエコクルーズ全行程  
約120kmの船旅でした。

～参加者のアンケート意見より～

(子ども)

「志々島の大楠と展望台の見学は山登りがとても大変だったけどその疲れをふきとばすような良い景色が見られてうれしかったです。」

「中間処理施設で豊島問題を香川県と豊島で協力して解決したことがよかった。」

「中間処理施設の見学が楽しかった。分かり易かった。」

(保護者)

「豊島問題は詳しく知らなかったのでもいいきっかけになった。これを基に自由研究に膨らませたいと思います。」

「海からの景色が良かった。環境センターに関しては税金が使われていると思ったら産廃業者に怒りを感じた。子どもとの良い思い出作りになった。」

「ことぶきの乗船は子どもにとってもよい経験だったと思う。志々島はまた来たいと思わせる島だった。」



残り2つの講座も写真で紹介します。

**コース② いのちの森を守り隊 8月4日午前、午後2回**

【講師 高松市立一宮小学校 光村拓也先生、樹木医 井上修先生】



前半は光村先生による「鎮守の森」の講義  
昔から地域にある鎮守の森が災害や原爆からも  
守ってくれたことを学びました。



昔と今の絵を見比べて気付いたことをたくさん  
発表しました。



後半は井上先生と「ミニ地球」作りの講座  
ペットボトルの中に土、植物、ダンゴムシをいれて  
ふたをしても、水や空気の循環で植物や生き物が  
生き続けられる仕組みになっています。



親子で力を合わせて作成しました。



2つの講義のあと光村先生から自由研究のまとめ方  
について教えていただきました。



受講後は一人ずつ「うどん県エコキッズ」認定証  
を授与されました。

コース③ 緑のカーテン広め隊 8月5日午前、午後2回

【講師 一宮小学校 光村拓也先生】



昨日に引き続き光村先生による緑のカーテンの講義



県庁東館屋上に移動して放射温度計を使って緑のカーテンや色々な場所の温度を測りました。



会議室に戻って緑のカーテンが涼しくなる理由を学びました。植物のもつ蒸散作用に理由が！？



捨てられるうどんから燃料や肥料を作り出す仕組みについても学びました。県庁の緑のカーテンにはこうして出来た肥料も使われています。



今日も講義の終わりに自由研究のまとめ方を教えていただきました。保護者の方は大助かり！？



今日も最後に「うどん県エコキッズ」認定式を行いました。

3日間に渡り、計5回の講座で合計156人のうどん県エコキッズが誕生しました。一緒に受講していただいた保護者の方も含めて、講座で知ったことを自分の生活に活かして、一人一人が環境に良い行動を心がけていただきたいと思います。